

## 平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

今年度の「全国学力・学習状況調査」は4月18日に実施されました。この調査は、全国すべての小学校6年生と中学校3年生の児童生徒が対象で、「全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善や学校における教育指導の充実、学習状況の改善に役立てる」ことをねらいとし、平成19年度より実施されているものです。都道府県や市町村、学校の教育力のランク付けを目的とした調査ではありません。

学力調査は「国語」・「算数」で、主として知識に関して問う「A問題」と主として活用力に関して問う「B問題」で構成されています。学習状況調査は学習意欲、学習方法、学習環境、生活面に関する実態を調べるための質問で構成されています。

本校の調査結果概要は以下の通りです。学校教育目標の「高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成」の実現に向け、どの学年でも「確かな学力・基礎基本の確実な定着」を推進し、個に応じたきめ細かな指導等により学力の充実を図っていきたいと思います。

### 【 学力調査（全体の平均正答率 %） 】

	国語A	国語B	算数A	算数B
平田小	全国を上回る	全国を下回る	全国を上回る	全国を上回る
酒田市	全国を上回る	全国を下回る	全国を下回る	全国を下回る
山形県	76	55	77	44
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

#### <国語>

（大きく上回る：3ポイント以上、上回る：3ポイント未満）

- 全体の平均正答率についてはA問題で全国を上回り、B問題で全国を下回り、山形県、酒田市と同程度だった。
- 各領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」）について。
  - ・A問題の「書くこと」で全国、山形県、酒田市の平均正答率を大きく上回った。
  - ・A、B問題ともに「読むこと」で全国、山形県、酒田市の平均正答率を下回った。

#### <算数>

- 全体の平均正答率についてはA、B問題ともに全国を上回り、山形県、酒田市を大きく上回った。
- 各領域（「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」）について。
  - ・A問題の「量と測定」「図形」で全国、山形県、酒田市の平均正答率を大きく上回った。
  - ・B問題の「図形」「数量関係」で山形県、酒田市の平均正答率を大きく上回った。

【 学習状況調査 (全 85 項目の質問より抜粋) 】

	質 問 事 項	平田小	山形県	全国
1	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う	89.2	77.8	75.1
2	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う	83.8	76.2	76.2
3	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している	73.0	65.8	63.4
4	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている	81.0	69.9	69.1
5	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている	75.6	80.9	81.4
6	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しくないと思う	32.4	47.9	46.2
7	道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う	91.9	80.0	78.5
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる	100	95.5	94.3
9	学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上の割合)	18.9	17.0	27.1
10	家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことについて話すことがある	37.8	49.3	50.4
11	毎日、同じくらいの時刻に起きている	97.3	91.5	91.2
12	今住んでいる地域の行事に参加している	100	82.9	62.6
13	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある	75.6	67.4	63.9

## 「さわやかな秋空のもと 気持ちよく走りました」

児童会の健康委員会が「体力向上」に向けて「マラソン強化期間(9/25-10/11)」を設定し「全校マラソン」に取り組みました。中間休みの20分間を有効に使い、低学年は3周以上、中学年は5周以上、高学年は7周以上を目標としていましたが、10周以上走る子どももおり大変意欲的な様子でした。さすがに6年生ともなると、走るペースを自分の目標や体調に合わせて、混んでいる内側を避けて外側を大きく走ったりするなど工夫がみられました。強化期間の後半になると次第に気温が低くなってきたのですが、子どもたちは寒さに負けずに元気一杯でした。

また、「体育学習」と「全校マラソン」の取り組みの成果を確かめるために「持久走記録会」を10月11日(水)に実施しました。

低学年は男女とも400m、中学年は男女とも600m、高学年は男子1,000m、女子800mを走りました。

持久走は「自己への挑戦」です。記録が短縮することで自分の成長がわかります。たとえ記録の短縮がなくても同じ距離を楽に走れたと感じることなどでも伸びがわかります。どの子どもも気合に満ちた表情でスタートラインに並び、ゴール後は全力を出し切った充実の表情でした。



初冠雪の鳥海山をバックに (10/5)